

令和2年度 第2回 平塚市図書館協議会 会議記録（要旨）【公開用】

開催日時	令和2年11月19日（木）10時30分～11時50分
開催場所	平塚市中央図書館3階ホール
出席者	<p>委員 竹之内 禎 会長 小林 利幸 副会長 鈴木 由美子 委員 掬川 舞子 委員 跡部 左恵 委員 久保田 幸子 委員</p> <p>事務局 平井 社会教育部長 小林 中央図書館長 渡辺 北図書館長 上村 西図書館長 勝山 南図書館長 菊坂 奉仕担当長 高橋 管理担当長 杉山 管理担当主査 松浦 管理担当主査 平原 奉仕担当主査 高島 管理担当主査</p>
欠席者	なし
傍聴人	6名

議 事

（1）「これからの平塚市図書館のあり方」について

・意見書の提出について

- 【 会 長 】 第1回図書館協議会では、図書館協議会として「これからの平塚市図書館のあり方」（素案たたき台）への意見書を中央図書館長へ提出することになった。意見書を作成するにあたり、事務局を通し、委員から意見を集め、資料「平塚市図書館のあり方」への意見書としてまとめた。
- 意見書の構成は、「施設と利用」、「資料とサービス」、「移動図書館」、「ボランティア活動」、「学校図書館」の5つの視点にわかれている。まず、それぞれの現状を振り返っている。平塚市の財政面なども留意し、市民ニーズや新型コロナウイルス等の影響も踏まえ、平塚市図書館全体のサービスを向上していくために、どのような方向性で進めたいか意見や要望をまとめている。特に、前期図書館協議会から協議してきた「移動図書館あおぞら号のあり方」については時間をかけて意見を出しあった。各項目の意見要望事項については、1ページから7ページの記載のとおりとなっている。8ページには全体を通じた意見・要望を6つにまとめた。
- 【 副 会 長 】 移動図書館については、最終的な方向性として、「移動図書館が巡回している地域の読書環境を整えた上で移動図書館を廃止するまたは役割を移行する」という選択肢もやむを得ないかもしれないが、移動図書館廃止ありきではなく、まずは地域の読書環境を整えることが先決であることは再度お願いしたい。また、「平塚市の図書館のあり方」を市民に提案するにあたっては、言い訳と受け取られないよう、具体的な方向性を明示し、図書館のサービスそのものを後退させずにより拡充していく方策を示す必要がある。パブリックコメントでは、厳しいご意見もある事を念頭に置いて、「できること」「できないこと」をきちんと説明していただきたい。その点ご留意いただき、最終的に策定していただくようお願いしたい。

※会長から「平塚市図書館のあり方」への意見書を中央図書館長へ提出した。

【事務局】 ただ今、「平塚市図書館のあり方」への意見書のご提出をいただいた。今回提出いただいた意見書をしっかりと受け止めたうえで、「これからの平塚市図書館のあり方」を策定させていただきたい。貴重なご意見をいただき、感謝申し上げます。

・「平塚市図書館の将来構想」(素案)(案)

【会長】 事務局でも事前に「平塚市図書館のあり方」に対する委員の意見をご覧いただいている。それを踏まえ、本日の資料「平塚市図書館の将来構想」(素案)(案)、「平塚市図書館の将来構想概要版」(案)を作成されたとのことなので、説明をお願いしたい。

【事務局資料説明】

ホチキス止め資料2ページ、「平塚市図書館の将来構想」(素案)(案)、「平塚市図書館の将来構想(概要版)」について、事務局から説明した。

【事務局】 ホチキス止めの資料2ページは、各委員からの意見に対する反映状況となっている。新型コロナウイルスやデジタル化への対応についてきちんとした方向性を記載することや本編の構成の再考についてご指摘いただいた。いただいたご意見を反映させて、素案を作成した。表題を「これからの平塚市図書館のあり方」から「平塚市図書館の将来構想」へ変更させていただいた。これは、今後10年を見通した平塚市図書館の基本理念と基本方針を明らかにし、より具体的に施策を展開する将来ビジョンとなるものである。あり方とは主に「あるべき姿を示すもの」だが、委員からのご意見及び策定の趣旨にあわせ、より前向きなイメージを伴う表現として「これからの平塚市図書館のあり方」から「平塚市図書館の将来構想」へ変更した。

【会長】 委員からの意見は事前に事務局へお示ししているが、その意見等をみて、事務局から「平塚市図書館の将来構想」(素案)(案)と概要版をお示しいただいた。素案たたき台から素案の案として、表題も含めだいたい構成も変わっているが、各委員からご意見を伺いたい。

質問だが、今回「平塚市図書館の将来構想」(素案)(案)となっているが、案はいつとれるのか。

【事務局】 パブリックコメントとして公表した際に「平塚市図書館の将来構想」(素案)となる。

【会長】 「平塚市図書館の将来構想」(素案)(案)の41ページに重点目標(中長期)、重点取組(短期)とあるが具体的に何年間で行うものか。

【事務局】 この将来構想の期間は、2021年度から2030年度までの10年間としている。明確に何年間で行うものと規定していないが、重点取組は短期的なものとして早急に取り掛かるべき取組、重点目標(中長期)は10年間の範囲で行うことを想定している。

【委員】 「平塚市図書館の将来構想」(素案)(案)の22ページの「市民が望む図書館の姿」は重要な内容でもう少し字を大きくできないかとも思うが、なぜ図書館を利用しないのかというアンケート結果があるが、どのくらいの人を対象にアンケートをとったものか。

【事務局】 平塚市在住の18歳以上の男女350名を対象に、住民基本台帳から無作為

	抽出しアンケートを送付した。そのうち、93名の方から回答があった。
【委員】	図書館を利用しない理由として、本は購入するという理由がトップであるが、利用しやすい場所に図書館がないという理由も多く挙げられている。いつも課題となってしまいが、図書館を改修したり増やしたりすることは難しいので、駅周辺や公民館を利用して、貸出や返却ができるようにするなど、すぐに取り組みそうなことから早急に取り掛かっていただければと思う。公民館の形態も地域にとって違うと思うが、公民館のスペースを利用して、図書を充実させていくなどの取り組みを検討していただきたい。横内公民館では談話スペースに図書を置いているが、図書館の協力の元、そういったスペースのさらなる活用ができないか、地域の公民館等の活用を検討していただきたい。
【事務局】	「平塚市図書館の将来構想」(素案)(案)の29ページに土屋公民館の取り組み事例を記載しているが、公民館の図書スペースに図書館職員が資料の提供・書架整理などを支援する実証実験を実施した結果、図書の貸出し冊数が大幅に増加したこともあるので、公民館や公共施設との連携・活用は今後重点的に検討していきたい。
【委員】	長年読み聞かせのボランティアをしているが、子どもたちは、学校の図書室を多く利用している現状もある。公立図書館を利用する子どもたちが少ない現状があるかもしれないが、それは学校の図書室で十分満足しているとも言えるので、学校図書館の図書の購入費等を充実させていただければ子どもたちの読書環境は十分確保できるのではないかと感じている。 また、各学校に配置されている学校司書に関して、図書室の運営に大変重要な役割を担っていると思うので、雇用する際の研修等を徹底し、人によって差が出ないように強化していただきたい。
【事務局】	学校図書館については、43ページ「学校図書館に対する支援と体制の確立」の中で、学校現場と連携し協力体制を強化していきたいと考えている。
【会長】	学校司書とはどのような仕事をされている方か。
【委員】	週2回程度、学校の図書室の整備や貸出業務等を行っている。
【会長】	週2回となると、正規職員とは違うのか。
【事務局】	正規職員ではない。
【会長】	正規職員ではないとなると、研修制度等の件については直接回答しづらいか。
【事務局】	カリキュラムにはなっていないが、年度初めに学校司書の集まりがあるので、図書館職員から基礎項目等の研修を行ったり、それとは別に新たに採用された学校司書向けに講習を行ったりしている。その他、中央図書館の講師派遣の制度を活用していただいたりしている。
【委員】	学校司書一人では大変なので、ボランティアが図書室の掃除をしたり協力をしているが、今年度から学校司書のサポートをする方が雇用されているようである。
【委員】	学校司書は週2～3回の5時間勤務のパートタイム会計年度任用職員として配置されている。コロナの影響もあり今年度は「スクールサポートスタッフ」が各校に配置されている。学校毎に工夫して様々なサポートをしていただいております。図書室のサポートもその一環かと思う。先ほどの学校司書への研修の件は教育指導課から別途研修も行っている。 「平塚市図書館の将来構想」(素案)(案)を確認したが、基本理念の元、各

	<p>基本方針の方向性と中長期目標と短期取組が明確にされ、大変わかりやすくなったと思う。また、学校のことも触れていただいております、どの本を選べば良いのかわからない子どもたちも多い中で、レファレンスの強化もあり、感謝している。</p> <p>意見書の中で、「平塚市の中央図書館と地区図書館の役割や機能について、しっかり整理が必要です。また、ネットワークを図にするなど、わかりやすく示してください。」とお願いしたが、中央図書館と地区図書館の役割について、素案8～9ページで中央図書館と地区図書館の概要について整理し、市内のネットワーク図も見やすくなったが、中央図書館を中心として、各地域の特色をもった地区図書館が連携し、関わり合っていることを図化していただけると良いと思う。8ページを確認すると、中央図書館と地区図書館が同等のものとして4館あるという印象を受けるので、中央図書館を中心に地域の図書館3館と連携し合いながら図書館サービスを提供していることが目に見えてわかるが良い。</p>
【事務局】	検討させていただく。
【委員】	平塚市子ども読書活動推進協議会でボランティアとして活動しているが、今年度はコロナの影響もあり、学校での読み聞かせ活動などほとんどできない状況下であり、ボランティア離れが懸念されている。先ほどの「スクールサポートスタッフ」の存在も初めて知ったが、学校との連携を図るのが1番難しいという状況もある。資料6ページ、項目25でお願いしたが、子ども読書活動推進協議会の今後について、図書館関係者だけでなく、校長会の代表の方や教育委員会の学校教育部門の部署の方にも出席していただければと思う。
【事務局】	担当部署とも調整し、可能な限り対応させていただきたい。
【副会長】	「平塚市図書館の将来構想」(素案)(案)では、コロナ対策として、新たな来館出来ない方へ向けたサービスの検討もきちんと示していただいているのは大変素晴らしいことだと思う。来館して図書館を利用するだけでなく、来館しなくても図書館を利用していただけるようICTの活用等進めていただきたい。具体的には、電子図書館やデジタル資料の利用促進を展開していただきたいと考える。
【会長】	駅前予約した本を受け取れるサービスなども図書館へ来館出来ない方へのサービスの一つなので、早急に導入をしていただければと思う。
【委員】	<p>「平塚市図書館の将来構想」(素案)(案)では、コロナ禍の図書館サービスの検討をきちんとお示しいただいている点で大変評価できると考える。子どもたちはコロナ禍だからこそ、本のありがたみや必要性をますます感じているところだ。今後、コロナの影響が拡大しても、図書館が閉館することがないように、本に触れ合う機会を減らさないような取り組みをお願いしたい。</p> <p>また移動図書館については、いずれは廃止するということが、「平塚市図書館の将来構想」(素案)(案)の41ページに、現在移動図書館の利用者が多い金目・真田地区、岡崎地区に関しては地域内の施設と連携し、読書環境を整備することをきちんと明記していただいているので、地域の方も安心していただけるのではないかと思います。</p>
【会長】	事務局から今後の予定をお願いしたい。
【事務局】	パブリックコメントを、令和3年2月上旬から3月上旬に実施する。現在「平

塚市図書館の将来構想」(素案)(案)となっているが、パブリックコメントでは、素案として提示する。3月下旬に予定している第3回図書館協議会では、パブリックコメントの結果等をお示しできればと予定している。実際のパブリックコメントの結果公表及び策定については、4月下旬頃を予定している。

素案(案)を確認していただきお気づきの点があれば11月中を目途に事務局までご連絡いただければと考えている。また、パブリックコメント前には各委員へもお知らせさせていただく予定である。

【 会 長 】 意見書の意見を反映させ、内容の濃い「平塚市図書館の将来構想」(素案)(案)を作成していただけたと感謝する。

(2) 地区図書館の指定管理者制度の導入に向けて

【事務局資料説明】

地区図書館の指定管理者制度導入概要について、6つの項目への意見を各委員から事前に集めた。委員の意見と事務局の対応について、事務局から説明した。

(10ページ～18ページ)

【 事 務 局 】 (1) 開館日数について、ご意見の中では開館日数増加への反対意見はなかったが、財政負担が少ない範囲での運用見直しによる開館日数の増加を目指す。また、月曜日の全館休館は好ましくないという意見もあり、例えば休館日をずらしたり、地区館1館だけ月に一度の休館とするなどにより、検討していかなければならないと考えている。予算要求時には、令和4年度からの指定管理期間で試行的に地区館1館の月曜の開館日数を増加するような要求をしていきたいと図書館としては考えている。

(2) 開館時間について、開館時間延長は賛成意見が多数であり、就労者利用の促進には午後7時までの開館が理想ではあるが、市としては案のとおり午後6時までを基本としたい。ただし、指定管理者の提案によってはさらなる延長も可能にしたいと考えている。

(3) 読書活動推進事業は、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮すると、従前のように不特定多数の人を集める積極的なイベントは難しいと考える。子ども司書の育成等、個人や少人数に対して、参加者が生活のなかでより多くの人に伝達していただけるようなイベントは相応しいと感じますので、事業に反映していきたいと考えている。

(4) 地域連携事業については、地域のニーズの把握のため、意見交換を大切にしてほしいという意見をいただいた。市側としても市民との協働は1番大切にしたい部分であり、指定管理者と協力しながら行っていきたいと考えている。指定管理者の選定にあたって、その企業が対市民への姿勢をどのように示すかは注視していきたい。また、リサイクルや郷土資料の充実も、現在実施しているものをより効果的に発展させる形で整えていくよう業務内容説明書に反映したい。

(5) 学校等支援事業でも、市側の(案)に対して、賛成意見が多く見受けられた。学校等の担当者や生徒たちが支援を求めてきた際には最大限の協力をできる体制にしていくことが責務と考え、業務化していく。平塚市全体の学校教育における読書活動の推進については、学校教育部の関係課が主体となり、中央図書館が連携して推進していきたいと考えている。

(6) 図書購入費については、数値目標への意見はなかったものの、図書館

	<p>運営の要であり、市民サービスに直結するので必要となる金額の予算確保を求める意見が複数あった。地区図書館の課題の中で最も解決すべき課題であるので、図書館の必要性を予算要求の中でも訴えていきたいと考えている。</p> <p>(7) その他自由意見では、民間活力の導入による変化が期待される反面、指定管理者の運営方針しだいでは、市民との信頼関係が築けるか、聞く耳をもってくれるのかという不安を感じられているご意見があった。市でできる最大限の配慮（業務内容説明書の作りこみ・指定管理者制度移行後の現場把握、評価、指示）を怠ることのないよう、進めたいと考えている。</p>
【 委 員 】	<p>各委員の意見及びその対応を丁寧にまとめていただき感謝する。指定管理者制度導入による様々な事業の展開等メリットの部分に期待したいが、指定管理者制度を導入している他市の状況を見ると、メリットは多くある一方、市の考えが伝わりづらい部分があることもあるようだ。指定管理者制度導入にあたっては、市の考えや中央図書館と地区図書館との協力体制が十分発揮できるように、指定管理者制度移行後の現場把握、評価、指示を怠ることのないよう、進めていただきたい。商業施設に併設された図書館では、寛げるスペースが少なくなってしまう、指定管理者制度を導入したら経費がさらにかかってしまった等の例もあるようなので、そのあたりの動向も注意しながら、導入していただければと思う。</p>
【 会 長 】	<p>最大限のメリット、最小限のデメリットで導入できるように、事前に提出されている委員の意見などは特に留意して進めていただきたい。</p>
【 副 会 長 】	<p>質問だが、資料10ページの項目番号2に、月曜日は隔週休館にするか、月に一度の休館にすると、運営経費は単純計算で、月に一度の休館で年間約1200万円程度増加、隔週の場合でも約800万円程度増加となるとあるが、どのような経費を計上しているのか教えていただきたい。</p>
【 事 務 局 】	<p>図書館の運営経費のほとんどは、スタッフなどの人件費である。3館を開館するとなると、スタッフも全体で数十名配置する必要があるため、その他施設の維持費や光熱水費等もあるが、人件費がほぼ占めている。</p>
【 会 長 】	<p>資料17ページで、「地区図書館に所蔵する一般貸出用図書約355,000冊を5,430冊で割ると・・・」とあるが、5,430冊とはどのような数字か。</p>
【 事 務 局 】	<p>資料が見にくくなっているが、地区図書館3館の令和2年度当初予算で計上している購入予定冊数の合計である。</p>
【 会 長 】	<p>事務局から今後の予定の説明をお願いしたい。</p>
【 事 務 局 】	<p>本日の協議会后に指定管理業務の骨格となる部分を決定し、12月をめどに条例・条例施行規則の改正（案）を内部審査にかける。併せて、年度末までに業務内容の作りこみを行ない、想定収支予算を財政部門に提出し、教育委員会や議会の承認を経て、来年7月に指定管理者を募集する予定である。</p>
【 会 長 】	<p>年度末までに業務内容の作りこみを行なうということは、年度末を過ぎたら大きな変更はできないということか。</p>
【 事 務 局 】	<p>細かい修正は加えられるが、大枠の変更は難しい。</p>
【 会 長 】	<p>各委員気づいたところ等随時あれば、事務局へ連絡していただければと思う。再三のお願いになるが、指定管理者制度導入にあたっては、他市の事例を研究しながら、現状と課題を洗い出し、より市民のみなさまにとってよりご利用いただきやすい図書館運営ができるよう進めていただきたい。</p>

(3) 事務局から報告事項

ブッククリーナーの設置、神奈川大学・平塚市交流事業特別展示「青の風景」、「リトアニアウィーク2020」開催に伴うリトアニア関連図書紹介コーナーの設置の紹介を行った。

(4) 委員提案

【 会 長 】 ツイッターでぶくまるが活躍されているが、インスタグラム等に行っていないのか。

【 事 務 局 】 行なっていない。

【 会 長 】 電子的な情報発信の手段でインスタグラムを活用し、図書館周辺の情報等も含め発信している図書館も増えてきているので、他市の例も研究しながら導入を検討していただきたい。

・第3回平塚市図書館協議会

令和3年3月下旬を予定。

閉 会